

E-BOOK CATALOG



電子書籍 総合図書目録

전자책 종합 도서 목록
电子书籍总合图书目录
電子書籍總合圖書目錄

2023



六花出版

Rikka Press 릿카 출판

占領軍被害の研究

●著＝藤目ゆき

「平和と民主主義をもたらし、占領政策の手本」と国連で賞される連合軍による日本占領の現実を明らかにする。

400ページ／本体価格＝5,600円＋税
NDC368.6／社会病理
2021年12月刊／ISBN978-4-86617-158-6



占領期 # GHQ # 戦争犯罪 # 植民地政策 # 平和学



治安維持法の「現場」

治安維持法事件はどう裁かれたか【治安維持法の歴史Ⅰ】

●著＝荻野富士夫

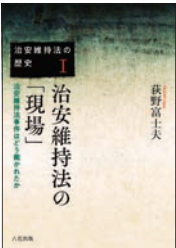
特高警察、思想検察、裁判所、刑の執行と保護観察・予防拘禁、釈放——それぞれの現場で治安維持法がどう運用されたのかを明らかにする。

▶推薦＝青木理

360ページ／本体価格＝2,500円＋税
NDC 326.81／刑法、刑事法
2021年5月刊／ISBN978-4-86617-135-7



治安維持法 # 治安-日本-歴史-明治以後 # 治安立法-日本-歴史-明治以後 # 特別高等警察 # 治安-法令



治安維持法

その成立と「改正」史【治安維持法の歴史Ⅱ】

●著＝荻野富士夫

治安維持法の成り立ちと、為政者に都合よく安易に拡大解釈できるよう「改正」していった道程を明らかにする。

432ページ／本体価格＝2,500円＋税
NDC326.81／刑法、刑事法
2022年11月刊／ISBN978-4-86617-168-5



治安維持法 # 治安-日本-歴史-明治以降 # 治安立法-日本-歴史-明治以降 # 特別高等警察



朝鮮の治安維持法の「現場」

治安維持法事件はどう裁かれたか【治安維持法の歴史Ⅲ】

●著＝荻野富士夫

日本国内より残虐に適用された、植民地朝鮮での治安維持法。朝鮮民族を「皇国の臣民」に仕立て上げるための強権支配の現場を明らかにする。

448ページ／本体価格2,500円＋税
NDC326.81／刑法、刑事法
2022年5月刊／ISBN978-4-86617-166-1



朝鮮近代史 # 日本近代史 # 植民地 # 治安立法



朝鮮の治安維持法

運用の通史【治安維持法の歴史Ⅳ】

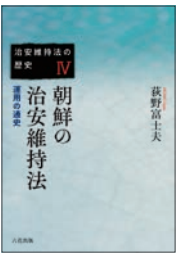
●著＝荻野富士夫

土地を奪い言葉を奪い名前を奪った朝鮮での治安維持法の猛威ぶりを、判決文や尋問調書などを読み込み、辿る。

370ページ／本体価格2,500円＋税
NDC326.81／刑法、刑事法
2022年1月刊／ISBN978-4-86617-160-9



朝鮮近代史 # 日本近代史 # 植民地 # 治安立法



台湾の治安維持法

【治安維持法の歴史Ⅴ】

●著＝荻野富士夫

人々を徹底弾圧し大量の犠牲者を出した「匪徒刑罰令」から治安維持法まで。日本統治下の台湾で繰り広げられた弾圧の様相を明らかにする。

296ページ／本体価格2,500円＋税
NDC326.81／刑法、刑事法
2023年5月刊／ISBN978-4-86617-170-8



台湾近代史 # 日本近代史 # 植民地 # 治安立法



監獄のなかの子どもたち

児童福祉史としての特別幼年監、感化教育、そして「携帯乳児」

●著＝倉持史朗

非行や犯罪にかかわってしまった子どもたちのために特別幼年監や感化教育によって取り組んだ先駆者たちの挑戦！

▶推薦＝木原活信

264ページ／本体価格＝4,200円＋税
NDC327.85／司法、訴訟手続法
2016年12月刊／ISBN978-4-86617-115-9



少年教護-日本-歴史-明治時代 # 児童福祉-日本-歴史-明治時代 # 刑務所-日本-歴史-明治時代 # 小河滋次郎, 1864-1925



人間に光あれ

日本近代史のなかの水平社

●著＝藤野豊・黒川みどり

すべての差別に、それが許される理由などないことを先駆的に示し、多くの反差別運動に影響を与えた全国水平社の歴史をたどる。

240ページ／本体価格＝1,800円＋税
NDC361.86／社会学
2022年3月刊／ISBN978-4-86617-177-7



同和問題 # 水平社運動 # 被差別 # 部落 # 在日朝鮮人 # アイヌ # キリスト教



私設社会事業

【編集復刻版】

●発行＝全日本私設社会事業聯盟

●解説＝寺脇隆夫・庄司拓也

戦争への突入と経済不況の中、社会的弱者が増大し、同時に社会事業団体が経営難に陥った。事態打開のため1931年に創立された全日本私設社会事業聯盟は全国の社会事業団体へ連帯を呼びかけ、法的整備を政府に訴えていく。

機関誌である本誌には、日本全国および植民地の社会事業全般に関する情報と論考が満載されている。

「聯盟」の活動をつぶさに報告する事業報告や大会議案、『罹災救助基金改正経過概要』『私設社会事業従事員待遇調査』など関連資料もあわせて復刻刊行。

第1巻●『私設社会事業』第1号～34号（1933年2月～35年11月）／解説

第2巻●『私設社会事業』第35号～58号（1936年1月～37年12月）

第3巻●『私設社会事業』第59号～121号（1938年1月～43年10月）

第4巻●全日本私設社会事業聯盟関連資料／『私設社会事業』事項索引

▶推薦＝菊池正治・永岡正己

総約1,350ページ／揃定価100,000円＋税

NDC369.06／社会福祉

2012年12月刊／ISBN978-4-86617-178-4



社会事業 # 昭和恐慌 # ハンセン病 # 傷痍軍人



傷痍軍人・リハビリテーション関係資料集成

【編集復刻版】

●編＝サトウタツヤ・郡司淳

●解説＝サトウタツヤ・郡司淳・上田早記子

戦争で障害を負い、「廃兵」「傷痍軍人」と呼ばれた兵士たちを日本政府はどのように遇したのか。手厚い保護とケアは戦争遂行にどのような意味を持ったのか。当事者自身の言説を中心に貴重資料を厳選。

第1巻●制度・施策／医療・教育編Ⅰ＋解説

第2巻●制度・施策／医療・教育編Ⅱ

第3巻●手記・文芸作品編Ⅰ

第4巻●手記・文芸作品編Ⅱ

第5巻●手記・文芸作品編Ⅲ

第6巻●手記・文芸作品編Ⅳ

第7巻●手記・文芸作品編Ⅴ

▶推薦＝吉田裕・上田敏・坪井秀人

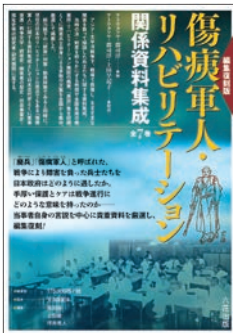
総約2,500ページ／揃定価175,000円＋税

NDC369.39／社会福祉

2015年11月刊／ISBN978-4-86617-200-2



傷痍軍人-歴史-史料 # リハビリテーション # 太平洋戦争(1941-1945) # 戦傷病者戦没者遺族援護



アクティブラーニングで学ぶ震災・復興学

放射線・原発・震災そして復興への道

●編著＝庄司美樹・新里泰孝・橋本勝

東日本大震災という大災害を単に知識としてでなく、いかに自分の問題として考えるかを主体的に学ぶ！

184ページ／本体価格＝1,500円＋税
NDC369.3／社会福祉
2020年9月刊／ISBN978-4-86617-107-4



災害復興 # 震災復興 # 災害 # 都市計画 # 被災者支援 # 原子力災害 # 産業災害 # スリーマイル島原発事故(1979) # チェルノブイリ原発事故(1986) # 東海村臨界事故(1999) # 福島第一原発事故(2011) # 確率的安全評価 # 原子力損害賠償措置 # 原子力保険 # 原子力 # アクティブラーニング # 教授法 # 探究学習



東日本大震災と被災・避難の生活記録

●編著＝吉原直樹・仁平義明・松本行真

東日本大震災から4年。被災者の生活者としての様相を、さまざまな分野の研究者による28本の論考で描く〈モノグラフ＝調査報告集〉！

776ページ／本体価格＝8,000円＋税
NDC369.31／社会福祉
2015年3月刊／ISBN978-4-86617-109-8



東日本大震災(2011) # 福島第一原発事故(2011) # 災害復興-東北地方 # 被災者支援-東北地方



東日本大震災と〈復興〉の生活記録

●編著＝吉原直樹・似田貝香門・松本行真

被災から6年。被災者が望む「心の復興」は進んでいるのか。29本の論考から災害後の実像にせまる〈モノグラフ〉集、第2弾！

780ページ／本体価格＝8,000円＋税
NDC369.31／社会福祉
2017年3月刊／ISBN978-4-86617-110-4



東日本大震災(2011) # 福島第一原発事故(2011) # 災害復興-東北地方 # 被災者支援-東北地方



東日本大震災と〈自立・支援〉の生活記録

●編著＝吉原直樹・山川充夫・清水亮・松本行真

大災害から9年後の「いま」を刻み、記憶の彼方に埋もれさせないために！ 28本の論文を収録した〈モノグラフ〉集、第3弾！

▶推薦＝室崎益輝

854ページ／本体価格＝8,000円＋税
NDC369.31／社会福祉
2020年7月刊／ISBN978-4-86617-104-3



東日本大震災(2011)-復興 # 福島第一原発事故(2011)-復興 # 災害復興



ヤヌシュ・コルチャックの教育実践 子どもの権利を保障する施設養育の模索

●著＝大澤亜里

「子どもの権利」という概念の先駆者＝ヤヌシュ・コルチャック。残された記録や書物から、氏の教育実践を詳細に検証。

276ページ／本体価格＝4,200円＋税

NDC369.43／社会福祉

2022年2月刊／ISBN978-4-86617-162-3



＃児童養護、孤児院、子どもの権利、ホロコースト、ポーランド、ユダヤ人

子供の世紀 【復刻版】

●発行＝大阪（日本）児童愛護聯盟

●解説＝菊池義昭・内田塔子

「子どもの権利」という概念が世界中に認められはじめ、優生学が革新的な学問だった1920年代。「まだコドモは看過され、玩弄視され、虐待されている。コドモの権利を増進するために国民的な動員を」と、子どもの人格の尊厳を謳って設立された大阪（日本）児童愛護聯盟の機関誌を復刻。

全15巻●1巻3号～22巻4号

（1923年7月～1944年4月）

※創刊時の誌名は『コドモ愛護』

次の巻号は未見のため収録しておりません。

1巻（1923年）5月【創刊号】・6・9～12号、2巻（1924年）1・2・4～12号、3巻（1925年）1・3～10号、4巻（1926年）2号、21巻（1943年）12号、22巻（1944年）3号

付録●総目次

▶推薦＝永岡正己・喜多明人・上田信道・石月静恵・安井真奈美

総約5,700ページ／揃定価375,000円＋税

NDC369.4／児童福祉

2017年11月刊／ISBN978-4-86617-191-3



＃児童愛護 ＃優生学 ＃子どもの権利 ＃児童福祉 ＃教育

戦後日本の道徳教育の成立 修身科の廃止から「道徳」の特設まで

●著＝佟占新

近年の道徳の教科化をめぐる議論の原点ともいえる、1945年から1959年における道徳教育の成立過程を考察。

▶推薦＝倉石一郎

224ページ／本体価格＝4,200円＋税

NDC371.6／教育学・教育思想

2019年2月刊／ISBN978-4-86617-106-7



＃道徳教育-日本-歴史-昭和後期 ＃天野貞祐、1884-1980 ＃内藤誉三郎、1912-1986 ＃科学研究費補助金（日本学術振興会）

教育史研究の最前線Ⅱ 創立60周年記念

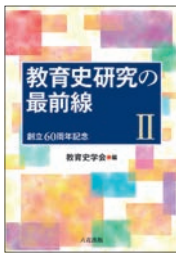
●編＝教育史学会

学会創立60周年の記念出版。気鋭の研究者25名による最新の教育史研究の動向や課題を提示する教育史研究の入門書第2弾。

320ページ／本体価格＝2,500円＋税

NDC372／教育史・事情

2018年5月刊／ISBN978-4-86617-128-9



＃教育-歴史

総力戦体制下の〈教育科学研究会〉 生活教育とカリキュラムの再編成

●著＝金智恩

1930年代、子どものための教育とは何かを問うた教育科学研究会の理論の全容を解明する。

▶推薦＝大島宏

364ページ／本体価格＝4,800円＋税

NDC372.106／教育史・事情

2020年7月刊／ISBN978-4-86617-102-9



＃日本-教育-歴史-昭和前期 ＃教育制度-日本-歴史-昭和前期 ＃教育科学研究会

占領下沖縄の学校教育 沖縄の社会科成立過程にみる教育制度・教科書・教育課程

●著＝萩原真美

占領初期におい最大の課題であった「復興」は、学校教育によっていかに成し遂げられたのか。

▶推薦＝藤澤健一

526ページ／本体価格＝8,000円＋税

NDC372.199／教育史・事情

2021年1月刊／ISBN978-4-86617-130-2



＃教育制度-沖縄県-歴史-1945-1972 ＃公民教育-沖縄県-歴史-1945-1972 ＃歴史教育-沖縄県-歴史-1945-1972 ＃地理教育-沖縄県-歴史-1945-1972

戦後教員養成改革と「教養教育」

●著＝山崎奈々絵

戦後の教員養成改革の実態を、教養教育の変遷から丁寧に検証し描き出した力作。

▶推薦＝船寄俊雄

290ページ／本体価格＝5,200円＋税

NDC373.7／教育政策・教育制度・教育行財政

2017年1月刊／ISBN978-4-86617-099-2



＃教員養成-日本-歴史-1945-1952 ＃科学研究費補助金（日本学術振興会）

男女共学の成立 受容の多様性とジェンダー

●編著＝小山静子・石岡学

戦後民主主義のもとで推進された高等学校の男女共学化をジェンダーの視点から全国さまざまな地域において検証。

336ページ／本体価格＝3,000円＋税

NDC374.2／学校経営・管理・学校保健

2021年6月刊／ISBN978-4-86617-141-8



＃共学・別学 ＃高等学校-日本-歴史

「女教員」と「母性」 近代日本における〈職業と家庭の両立〉問題

●著＝齋藤慶子

男性と同等に働く誇りと母性を強調されることの矛盾を抱える「女教員」の思いを丁寧に読み解く。

▶推薦＝小山静子

288ページ／本体価格＝4,000円＋税

NDC374.37／学校経営・管理・学校保健

2014年6月刊／ISBN978-4-86617-090-9



＃女教員-日本-歴史-1868-1945 ＃女性労働-日本-歴史-明治以後 ＃ワークライフバランス

戦後女性教員史 日教組婦人部の労働権確立運動と産休・育休の制度化過程

●著＝跡部千恵

日本教職員組合婦人部の労働運動に着目し、1960年代70年代を中心に女性教員の運動の実像を明らかにする。

▶推薦＝井上恵美子

240ページ／本体価格＝4,800円＋税

NDC374.4／学校経営・管理・学校保健

2020年1月刊／ISBN978-4-86617-096-1



＃女性教員-日本-歴史-1945- ＃日本教職員組合婦人部 ＃労働運動-日本-歴史-1945- ＃育児休業-歴史 ＃科学研究費補助金（日本学術振興会）

「伊勢参宮旅行」と「帝都」の子どもたち

●著＝橋本萌

1930年代に東京市を中心に行われた伊勢神宮参拝を目的とした小学校児童の修学旅行（参宮旅行）の教育的意味を検証。

▶推薦＝山田恵吾

340ページ／本体価格＝4,000円＋税

NDC374.5／学校経営・管理・学校保健

2020年7月刊／ISBN978-4-86617-101-2



＃修学旅行-歴史 ＃伊勢参宮 ＃参詣 ＃伊勢信仰

「保育」の戦後史 幼稚園・保育所の普及とその地域差

●著＝松島のり子

より良い「保育」の機会をもたらすための保育施設の普及を考察！

▶推薦＝湯川嘉津美

480ページ／本体価格＝6,000円＋税

NDC376.121／幼児・初等・中等教育

2015年5月刊／ISBN978-4-86617-131-9



＃幼稚園-日本-歴史-昭和後期 ＃保育所-日本-歴史-昭和後期

木銃の社会史 小学校教育における表象と国民形成

●著＝佐喜本愛

「木銃」という「モノ」が、小学校教育の現場でどのように扱われたのか。その実態を明らかにし、近代日本の教育を照らし出す。

210ページ／本体価格＝4,000円＋税

NDC376.21／幼児・初等・中等教育

2021年11月刊／ISBN978-4-86617-156-2



＃日本近代史 ＃体育 ＃教育史 ＃兵式体操

子どもの貧困と教師 東京市万年小学校をめぐる苦悩と葛藤

●著＝別役厚子

万年尋常小学校と坂本龍之輔の活動の実態を正面から探った、別役厚子の遺稿集！

▶推薦＝堀尾輝久・寺崎昌男

408ページ／本体価格＝3,800＋税

NDC376.3／幼児・初等・中等教育

2019年2月刊／ISBN978-4-86617-154-8



＃坂本竜之輔、1870-1942 ＃東京市万年尋常小学校

戦後 夜間中学校の歴史 学齢超過者の教育を受ける権利をめぐる

●著＝大多和雅絵

15歳を過ぎてもなお、「学びなおしたい」生徒と、応援者たちを通じて、その歴史的経緯と意義を考察。

▶推薦＝勝野正章

368ページ／本体価格＝3,000円＋税

NDC376.31／幼児・初等・中等教育

2017年6月刊／ISBN978-4-86617-113-5



＃夜間中学-歴史-1945-

朝鮮人学校の子どもたち

戦後在日朝鮮人教育行政の展開

●著＝松下佳弘

戦後、在日朝鮮人児童・生徒の教育を受ける権利は確保されていたのか。年代を追って変容する行政の対応を検証。

▶推薦＝水野直樹

488ページ／本体価格＝4,000円＋税
NDC376.9／幼児・初等・中等教育
2020年10月刊／ISBN978-4-86617-108-1



#朝鮮学校 #朝鮮人(日本在留) #教育行政-日本-歴史-昭和後期 #地方行政-日本-歴史-昭和後期

高等専修学校の研究

地域教育ニーズに着目して

●著＝山田千春

各種学校時代からの歴史や変遷を紹介し、不登校や発達障害をもつ生徒の受け皿としての実態や、地域教育ニーズとの関連性を調査・検証する。

276ページ／本体価格＝2,800円＋税
NDC376.7／幼児・初等・中等教育
2022年3月刊／ISBN978-4-86617-164-7



#教育史 #各種学校 #不登校

障害児 学童疎開資料集

【編集復刻版】

●編＝松本昌介・飯塚希世・竹下忠彦・中村尚子・細渕富夫

●解説＝松本昌介・飯塚希世

強壮な兵士になることだけが子どもたちに望まれた時代の障害児たちの貴重な生活記録！

第1巻●光明学校Ⅰ（巻頭に序文＝逸見勝亮、解説＝松本昌介）

第2巻●光明学校Ⅱ（巻末に機関誌類の総目次）

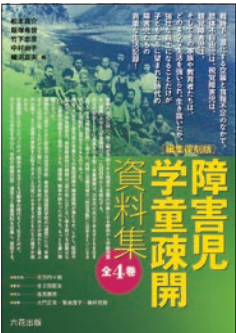
第3巻●日誌・報告・通信ほか／回想・研究Ⅰ（巻頭に解説＝飯塚希世）

第4巻●回想・研究Ⅱ

▶序文＝逸見勝亮

▶推薦＝大門正克・菊地澄子・藤井克徳

総約1,600ページ／揃定価80,000円＋税
NDC378.3／障害児教育〔特別支援教育〕
2017年11月刊
ISBN978-4-86617-171-5



#光明学校(東京市立) #学童疎開

動員される母親たち

戦時下における家庭教育振興政策

●著＝奥村典子

戦時下に母親たちを組織し「家庭教育」の振興が追求された。その実態を明らかにする。

▶推薦＝清水康幸

298ページ／本体価格＝4,000円＋税
NDC379.9／社会教育
2014年10月刊／ISBN978-4-86617-098-5



#家庭教育-歴史 #太平洋戦争(1941-1945) #女性教育-日本-歴史-昭和前期 #教育と社会

精神病患者と私宅監置

近代日本精神医療史の基礎的研究

●著＝橋本明

精神病者の「私宅監置」の実証的研究により、患者・家族・地域社会の視点から精神病者と看護者・地域・病院・行政の問題をとらえ直す。

240ページ／本体価格＝4,000円＋税
NDC493.7／内科学
2011年12月刊／ISBN978-4-905421-08-5



#精神医学-歴史 #科学研究費補助金(日本学術振興会)

もうひとつの戦場

戦争のなかの精神障害者／市民

●編著＝岡田靖雄

●著＝野田正彰・蟻塚亮二・中澤正夫

戦争が患者を追い詰めるだけでなく、市民を精神障害に追い込んでゆくさまを歴史的事実を積み重ねながら立証する。

228ページ／本体価格＝1,800円＋税
NDC493.7／内科学
2019年7月刊／ISBN978-4-86617-139-5



#精神医学-日本-歴史-昭和前期

「治療の場所」の歴史

ベルギーの街ゲールと精神医療

●著＝橋本明

精神病患者の「治療の場所」＝ゲールにおける家庭看護の歴史を再検討し、近未来の精神医療のあり方を探る。

280ページ／本体価格＝4,800円＋税
NDC493.7／内科学
2020年11月刊／ISBN978-4-86617-112-8



#精神医学-歴史-近代

近代日本 PTSD 関係史料集成

【編集復刻版】

●編・解説＝サトウタツヤ

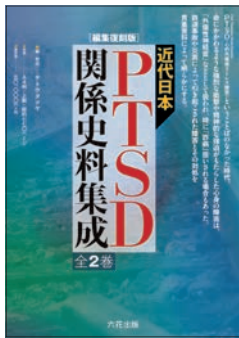
鉄道事故や災害など強烈な衝撃や強迫による心身の障害は、かつて「外傷性神経症」などとして扱われ、時に「詐病」扱いされる場合もあった。その実態を貴重資料によって明らかにする。

第1巻
鉄道現業員はどうして負傷するか●1914・6／鉄道病院療養所及治療所一覧大正十五年二月●1926・2／災害医学講演集●1927・10

第2巻
外傷性神経症調査委員会第一回報告●1927・3／健康保険と詐病及外傷性神経症全●1932・3／傷痍者職能判定委員会資料（第四回）●1953・3／鉄道療養所に於ける傷痍者の指導●1953・8／国鉄傷痍者の実態●1955・3ほか

▶推薦＝橋本明・佐藤雅浩・森茂起

総約770ページ／本体価格＝70,000円＋税
NDC493.743／内科学
2019年5月刊／ISBN978-4-86617-105-0



#心的外傷後ストレス障害 #不安障害 #心的外傷 #ストレス #EMDR

相馬事件

明治の世をゆるがした精神病問題 その実相と影響

●著＝岡田靖雄

精神科医療の画期となった「相馬事件」とは何だったのか。膨大な関連資料から事件の進展と実相、そして社会に与えた影響を紹介する。

368ページ／本体価格＝4,500円＋税
NDC493.7／内科学
2022年7月刊／ISBN978-4-86617-190-6



#日本近代史-明治 #精神病監護法 #相馬誠胤 #錦織剛清 #後藤新平 #志賀直道

戦後民主主義が生んだ優生思想

優生保護法の史的検証

●著＝藤野豊

公共の福祉の名のもとに「生まれては困る子ども」を産ませず、「子どもを持つてはいけない人」を峻別した優生保護法の歴史を解説する。

304ページ／本体価格＝1,800円＋税
NDC498.25／衛生学・公衆衛生・予防医学
2021年4月刊／ISBN978-4-86617-133-3



#優生保護法 #優生問題-日本-歴史-1945-

ハンセン病絶対隔離政策と日本社会

無らい県運動の研究

●編＝無らい県運動研究会

患者の人生を奪い、人権を踏みにじった「無らい県運動」の実態を明らかにし、現在も続く元患者やマイノリティへの差別構造を考える。

▶推薦＝神美知宏

320ページ／本体価格＝2,800円＋税
NDC498.6／衛生学・公衆衛生・予防医学
2014年5月刊／ISBN978-4-86617-143-2



#ハンセン病 #社会的差別-日本-歴史

孤高のハンセン病医師

小笠原登「日記」を読む

●著＝藤野豊

絶対隔離政策のもとで、自らの医学的知見にしたがい、療養所外での自宅治療・通院治療を敢行した医師・小笠原登の思想と実践を検証。

▶推薦＝和泉真藏・小川文昭

224ページ／本体価格＝1,800円＋税
NDC498.6／衛生学・公衆衛生・予防医学
2016年3月刊／ISBN978-4-86617-137-1



#ハンセン病 #小笠原登, 1888-1970

「家族がハンセン病だった」

家族訴訟の証言

●編＝ハンセン病家族訴訟弁護団

患者家族もまた隔離政策の被害者だった。家族への被害実態を明らかにする、裁判の経過報告と意見陳述。

▶推薦＝森和男

312ページ／本体価格＝1,800円＋税
NDC498.6／衛生学・公衆衛生・予防医学
2018年5月刊／ISBN978-4-86617-142-5



#皮膚抗酸菌感染症 #ハンセン病療養所 #行政訴訟-日本 #社会的差別-日本

「黒い羽根」の戦後史

炭鉱合理化政策と失業問題

●著＝藤野豊

国策に翻弄され悲惨な生活を強いられた炭鉱労働者と家族に対して、世論を動かし、炭鉱離職者臨時措置法を成立させるまでの15年間を踏査。

360ページ／本体価格＝2,800円＋税
NDC567.0921／石炭
2019年9月刊／ISBN978-4-86617-136-4



#石炭鉱業-日本-歴史-昭和後期 #失業-日本-歴史-昭和後期 #昭和天皇, 1901-1989 #筑豊炭田 #黒い羽根運動

ニューヨークの日本人画家たち 戦前期における芸術活動の足跡

●著＝佐藤麻衣

移民としてニューヨークへ渡った画家たちの異郷の地での創作活動の意義と作品の背景を明らかにする。

270ページ／本体価格＝2,800円＋税
NDC720.3／絵画
2021年7月刊／ISBN978-4-86617-153-1



#画家-日本-歴史-大正時代 #画家-日本-歴史-昭和前期 #日本人(ニューヨーク州在留)-歴史 #石垣栄太郎, 1893-1958

〈変態〉二十面相 もうひとつの近代日本精神史

●編＝竹内瑞穂＋「メタモ研究会」

近代日本に現れた〈変態〉概念を解き明かす！

▶推薦＝斎藤光

224ページ／本体価格＝1,800円＋税
NDC910.3／日本文学
2016年9月刊／ISBN978-4-86617-138-8



#日本文学-歴史-明治以後 #日本思想-歴史-明治以後 #異常心理学異常性欲 #江戸川乱歩, 1894-1965 #梅原北明, 1901-1946 #呉秀三, 1865-1932 #森田正馬, 1874-1938 #小堀虎之助, 1888-1978 #中村古峯, 1881-1952 穀 #谷崎潤一郎, 1886-1965 #田中守平, 1884-1929 #渡邊藤次, 1885-1975 #綿貫六助, 1880-1946 #木々高太郎, 1897-1969 折重 #三島由紀夫, 1925-1970 #阿部定, 1905- #熊沢寛道, 1889-1966

〔新編〕日本女性文学全集

●監修＝岩淵宏子
長谷川啓

「女が書く」とは何か——
近現代日本における女性文学の系譜をたどる決定版！
92人の女性作家のアンソロジー。

▶推薦＝中川成美・田中綾・小森陽一・狩野啓子



各巻約550ページ／各巻本体価格＝5,000円＋税／揃定価＝60,000円＋税
NDC913.68／小説・物語
2020年3月刊／ISBN978-4-86617-213-2

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 第1巻 ● [責任編集] 渡邊澄子 | ISBN978-4-86617-201-9 |
| 第2巻 ● [責任編集] 北田幸恵 | ISBN978-4-86617-202-6 |
| 第3巻 ● [責任編集] 吉川豊子 | ISBN978-4-86617-203-3 |
| 第4巻 ● [責任編集] 尾形明子 | ISBN978-4-86617-204-0 |
| 第5巻 ● [責任編集] 岩淵宏子 | ISBN978-4-86617-205-7 |
| 第6巻 ● [責任編集] 長谷川啓 | ISBN978-4-86617-206-4 |
| 第7巻 ● [責任編集] 橋本のぞみ | ISBN978-4-86617-207-1 |
| 第8巻 ● [責任編集] 小林裕子 | ISBN978-4-86617-208-8 |
| 第9巻 ● [責任編集] 竹内栄美子 | ISBN978-4-86617-209-5 |
| 第10巻 ● [責任編集] 水田宗子 | ISBN978-4-86617-210-1 |
| 第11巻 ● [責任編集] 岡野幸江 | ISBN978-4-86617-211-8 |
| 第12巻 ● [責任編集] 矢澤美佐紀 | ISBN978-4-86617-212-5 |



#女性作家-日本

増野悦興研究 埋もれたキリスト者の生涯と思想

●著＝滝澤民夫

信仰の内面性を重視し、独自のキリスト教思想を探究した増野悦興（ましのよしおき）。その生涯と思想を描く。

▶推薦＝室田保夫

612ページ／本体価格＝8,000円＋税
NDC198.321／各教派、教会史
2019年9月刊／ISBN978-4-86617-114-2



#増野悦興, 1865-1911 #新島襄, 1843-1890 #石井十次, 1865-1914 #キリスト教徒-日本

太古の系譜 上井幸子写真集 沖縄宮古島の祭祀

●文＝もろざわようこ 写真編集＝比嘉豊光

1970年代から宮古島に足しげく通い、そこに息づく靈性に魅せられ、神女たちによる祭祀とそこに生活する人びとに心を寄り添わせた写真集。貴重写真約200点を収録。

256ページ／本体価格＝2,500円＋税
NDC748／写真集
2018年5月刊／ISBN978-4-86617-199-9



#祭り-宮古島-写真集

●弊社の電子書籍は、図書館向け学術電子書籍配信サービスを行っている各社のプラットフォームからのご利用が可能です。詳細は、下記へお問い合わせ下さい。

EBSCO
Kinokuniya Digital Library (KinoDen)
Maruzen eBook Library
モバイルブック・ジェーピー

 六花出版
Rikka Press

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-28
電話 03-3293-8787 FAX 03-3293-8788
E-mail : info@rikka-press.jp https://rikka-press.jp